

危険物を収納する設備等から危険物の抜取り 仮貯蔵・仮取扱い実施計画書【例3】

住所
届出者 氏名 ⑨
電話

1 目的

震災等により被災した変圧器等を修繕、点検するために必要な事項をあらかじめ計画するものである。

2 仮貯蔵・仮取扱いをする場所

〇〇市〇〇町〇〇番地 〇〇工場東側空地

3 仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

合計 約 120 平方メートル (12 メートル×10 メートル)

4 詳細レイアウト

別紙のとおり

5 仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類・品名・数量

第4類第3石油類 絶縁油 10,000 リットル

6 指定数量の倍数

5倍

7 貯蔵及び取扱方法

(1) 変圧器の修繕、点検のため、変圧器内部の絶縁油を一旦抜取り、仮設タンク等で貯蔵し、内部修繕・点検が終了後に変圧器内部に再度注油する。

(2) 保有空地を3メートル確保する

(3) 第五種消火設備 10型粉末消火器 3本を設置する。

(6) 標識、掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。

「危険物仮貯蔵（取扱）所」、「品名・数量・倍数」、「火気厳禁」

8 安全対策

(1) 変圧器等、ポンプ、仮設タンクのアースを確保する。

(2) 仮設の防油堤を設置し、漏えい防止シートの敷設等の流出防止対策を講ずるとともに、配管の結合部からの流出防止対策としてオイルパンを設置する。

(3) 1箇所での取扱い場所で同時に複数の設備から抽出しは行わない。

(4) 危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。

9 管理状況

(1) 保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。

(2) 敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。

(3) 作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。

10 その他必要な事項

危険物の抽出し等を行った変圧器の数及び危険物の数量を記録し、事後速やかに報告する。

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（危険物を収納する設備等から危険物の抜取りの安全対策の例）

